

2016.4

(公社)富山県薬剤師会
広報誌

とみ やま 富 薬

4号

第38巻

No.321



ジャーマンカモマイル *Matricaria chamomilla* L. (キク科 Compositaceae)

生薬 カミツレ 開花している花を摘み取り、陽乾する。

成分 精油：chamazulene, α -famesene, matricin, bisabolol、
クマリン類：asculetin, herniarin, umbelliferone、フラ
ボノイド：apigenin, quercetin、糖類：inositol, taraxa
sterol, dihydroxycinnamic acid、triacontane 等。

効能 駆風、発汗、消炎、鎮痛、鎮痙、強壯、健胃、整腸薬として
かぜ、神経痛、リウマチ、腰痛、不眠症、喘息、便秘、
下痢、胃腸炎に広く用いられる。香料としてリキ
ュール、香水、シャンブーなどにも応用される。ま
た、神経痛、リウマチ、腰痛に浴剤として用いる。

生薬 ジャーマンカモマイル

元富山県薬事研究所
薬用植物指導センター

村上守一氏 写真撮影

〇〇表紙について〇〇



カモマイルには二種類あります。カミツレ属 (*Anthemis*) のローマンカモマイル (*A.noilis*) とシカギク属 (*Matricaria*) のジャーマンカモマイルです。前者は多年草で茎は地面を這うようにして伸びて行き、草丈は約30cmほどで香りの芝生と呼ばれ、花言葉の「苦難に耐える力」は踏まれてもよく育つことを意味しています。花だけではなく全草に香りがあり、Chamomileはギリシア語の *Khamai* (地上に) と *Melon* (リンゴ) の合成語で「低く這うように生える香りがリンゴに似た植物」の意です。香り成分はアンゲリカ酸のエステル類などを多く含有しています。花期は7-8月で野菊に似た頭状花を開きます。後者は一年草または越年草で、草丈は80cm程になり、下部から良く分枝し、茎頂に強い香りを持った頭状花を3-5月に開きます。周囲の舌状花は開き切ると極端に反り返って咲きます。香りは花だけで茎や葉にはありません。また、花床の内部が中空になっていることから乾燥花でもローマンカモマイルと見分けることができます。

紀元前2,000年頃の古代バビロニアで薬用に供され、エジプトではマラリア熱を治すために太陽に捧げたと伝えられ、ギリシアでは兵士達の傷を癒すための浴剤として利用されたり、プリニウス (23-79) の『博物誌』にはローマの医師がその薬効を称賛する記述が残されています。これら古くからの記録が、地中海中心であることから、この植物は主にこれらの地域を原産地とするローマンカモマイルであろうと推測されています。今でもイギリスやフランス、ベルギーなどで使われている重要なハーブです。イギリスのキューガーデンやバッキンガム宮殿では青々としたカモマイルのベンチも見ることができます。11世紀に書かれたと伝えられているイギリスの神話、ゲルマン神話の神ウォーデンについて触れている中に「九つの薬草の呪文」があり、マイズの名でカモマイルが挙げられています。

一方、ジャーマンカモマイルはドイツ、ハンガリーを中心に用いられているようです。ドイツでは至る所に野生化し、畑や庭の雑草として繁茂しています。属名の *Matricaria* はラテン語の *matri* (母の) または *matrix* (子宮) 由来で、映画『マトリクス』で有名になった言葉で、「生み出すもの」を意味しています。婦人病に使われる薬であることから付けられた名とも考えられます。実際カモマイルも婦人病薬として使われています。これは中国名の「母菊」に影響しているとも考えられます。

日本には江戸時代末の文政三年 (1818) にオランダより薬草60種の一つとして渡来したことが記録に残っています。渡来時にオランダ語の *Kamille* を「カミルレ」、「カミレ」、「カミツレ」と耳にし、漢字で「加蜜列」と書いたことから「蜜」を「ミツ」と読み、「カミツレ」になったと言われています。明治19年 (1886) に発行された『第一版日本薬局方』には「カミルレ」の名で収載され、薬効は発汗剤としていましたが、『第五版』(1932) から「カミツレ」に変更され、『第八版』(1971) から削除されました。初めて渡来した種がジャーマンカモマイルであったためか日本でいうカミツレは薬局方でもジャーマンカモマイルを規定していました。国内栽培は微々たるもので、鳥取県などで栽培されていましたが、昭和30年代に廃れました。昨今のハーブブームで復活し、各地で栽培されるようになっていますが、まだ営利栽培はほとんどありません。(村上守一 記)